

第84回

全国市長会議



第84回全国市長会議（通常総会）を6月4日、ホテルニューオータニにおいて641名の市長の出席を得て開催した。

総会運営委員長の高橋・高岡市長の進行のもと、会長の森・長岡市長があいさつを行い、次いで内閣総理大臣（加藤・内閣官房副長官代読）、新藤・総務大臣からそれぞれ祝辞をいただいた。

次に、永年勤続功労表彰市長（12年勤続）48名、特別功労表彰市長（20年勤続）5名が表彰され、被表彰者を代表して、小池・加茂市長からあいさつがあった。

続いて、昨年の総会以降に新たに市制施行された滝沢市（岩手県）が紹介され、柳村・滝沢市長からあいさつがあった。

その後、議事に入り、森会長が議長となり、会務報告に併せて関東支部から提案された「全国市長会会長の選任方式の見直しについて」について、今後、副会長および支部長で協議することを報告し了承され、次いで、平成24年度決算報告および平成26年度予算承認が行われた。

各支部提出議案については、第1分科会委員長の母袋・上田市長、第2分科会委員長の梶・輪島市長、第3分科会委員長の岡崎・高知市長、第4分科会委員長の木田・鳥羽市長から各分科会における審議の経過および結果について報告があり、いずれも了承された。

引き続き、決議案審議を行い、「東日本大震災からの復旧・復興に関する決議」および「東京電力福島第一原子力発電所事故への対応と原子力安全対策等に関する決議」（提案理由説明者：立谷・相馬市長）、「地震・津波等防災対策の充実強化に関する決議」（同：山野・金沢市長）、「地方の創意を活かした分権型社会の実現を求める決議」（同：会田・守谷市長）、「都市税財源の充実強化に関する決議」（同：原・徳島市長）、「持続可能な国民健康保険制度の確立に関する決議」（同：山口・千歳市長）の6件を決定した。

続いて、役員改選を行い、正副会長候補者選考委員会委員長の釘宮・大分市長の報告どおり、副会長（任期1年）に西川・旭川市長、小林・八戸市長、高橋・高岡市長、佐藤・宇都宮市長、田中・四日市市長、神出・海南市長、松浦・防府市長、野志・松山市長、横尾・多久市長を選出した。

次いで、新副会長からそれぞれ就任あいさつがあり、最後に旧役員を代表して、山口・千歳市長からあいさつが行われた。

なお、全国市長会議の運営にあたっては、総会運営委員会（委員長：高橋・高岡市長、委員：田岡・石狩市長、奥山・仙台市長、内野・海老名市長、田中・四日市市長、佐々木・南丹市長、松浦・松江市長、大西・高松市長、釘宮・大分市長）が行った。

開会あいさつ



開会のあいさつをする森会長

来賓あいさつ



内閣総理大臣祝辞(代読) 加藤・内閣官房副長官



総務大臣祝辞 新藤・総務大臣

表彰



永年勤続功労表彰市長を代表して表彰を受ける花川・北区長



特別功労表彰を受ける小池・加茂市長



特別功労表彰を受ける河瀬・敦賀市長



特別功労表彰を受ける清水・太田市長



特別功労表彰を受ける石垣・新見市長



特別功労表彰を受ける松本・大村市長



被表彰者を代表してあいさつする
小池・加茂市長



総会運営委員

総会運営委員長として会議の進行にあたった高橋・高岡市長



新市紹介



柳村・滝沢市長

各支部提出議案審議経過および結果報告



第1分科会委員長の母袋・上田市長



第2分科会委員長の梶・輪島市長



第3分科会委員長の岡崎・高知市長



第4分科会委員長の木田・鳥羽市長

決議案審議



「東日本大震災からの復旧・復興に関する決議」および「東京電力福島第一原子力発電所事故への対応と原子力安全対策等に関する決議」の提案理由説明をする立谷・相馬市長



「地震・津波等防災対策の充実強化に関する決議」の提案理由説明をする山野・金沢市長



「地方の創意を活かした分権型社会の実現を求める決議」の提案理由説明をする会田・守谷市長



「都市税財源の充実強化に関する決議」の提案理由説明をする原・徳島市長



「持続可能な国民健康保険制度の確立に関する決議」の提案理由説明をする山口・千歳市長

役員改選



副会長の選考経過および結果の報告を行う釘宮・大分市長



満場一致で選出された新副会長



旧役員を代表してあいさつをする山口・千歳市長

選任された副会長



西川・旭川市長



小林・八戸市長



高橋・高岡市長



佐藤・宇都宮市長



田中・四日市市長



神出・海南市長



松浦・防府市長



野志・松山市長



横尾・多久市長